

横山幸次

区政報告
ニュース

530

2014年3月 9日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。

自分の地域をよく知って危険な要因を取り除く…

荒川区の震災対策は

住民参加型の防災マップづくりのとりくみを求めました
災害発生後の状況を様々にイメージすることが大事…
全国で大地震などの災害に備えて「住民参加型防災マップづくり」が試みられています。これは、住民自身が地域の現状を確認して必要な情報をまとめ、地域で活用できる防災マップを作ろうというものです。同時にこの取り組みを通じて、防災意識向上の効果もあります。また、マップづくりに参加できなかった住民のみなさんさんへ配布することで地域の共通認識も生まれる効果も期待できます。

横山区議は、こうした提案を繰り返し行ってきましたが、今回も危険度の高い地域でモデル実施する予算を留府ようです。
災害時のイメージトレーニングのための「目黒巻」の活用も提案。家庭でもできるものです。一度試してはいかが！



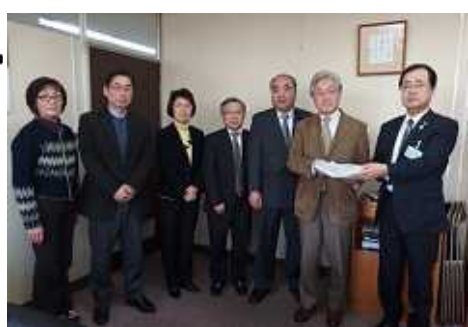
目黒巻（防災巻）とは
東大の目黒教授（都市震災軽減工学）研究室で作成。災害状況を的確にイメージするため、時刻や場所、季節や天候に応じて、発災からの時間経過の中で、自分の周辺で起こる災害状況を具体的にイメージするものです。「目黒巻」を使って自分を主人公とした物語を作ってください。用紙は「目黒研究室」のホームページからダウンロードして下さい。

目黒巻の書き方

目黒巻では、自分を主人公にした一つの物語を作ってください。
手帳に書き込む感覚で、発生後の自分の状況・行動・気持ちなどを想像し、時間軸に沿って自由に書きこんでください。

タブレットパソコン予算8億円を見直し教材・学校給食無料化、福祉に振り向ける署名を提出

区民アンケートに続き署名に取り組み、先日区長に提出。ご協力に感謝いたします。今回の署名にも「学習効果のはっきりしないタブレット使用の授業より他にやることはあるはずですか？」など多くの意見が寄せられています。区長はこの区民の声に耳を傾けるべきではないでしょうか。引き続き提出した予算修正の実現に向けがんばります。



裏面 荒川2丁目複合施設など区の大型施設建設…

定例法律相談会

4月7日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

ふれあい館の隣に町屋保育園も移転してくる中で4月以降の旧町屋ひろば館はどうなるのかな…
以前から旧町屋ひろば館（写真）について将来の活用方法を書き連ねてきました。こうして、今年4月いっぱいまでドック入コ保育園仮園舎の貸し付け終了することになります。
今後どうなるのか地域からは様々な意見も聞こえてきます。
同時に、区は、現在の区立町屋保育園を町屋ふれあい館隣の空き地に移転、その際区立でなく民間保育園に変えることを決めています。また現在の町屋保育園の跡地には私立幼稚園を誘致することとしています。保育園の運営主体の是非は別に、周辺にふれあい館も含めた子育て施設が集まっています。町屋ふれ

次々と大型施設建設計画が規模や目的は本当に妥当か？



複合施設建設用地



荒川二丁目複合施設(床面積1万㎡)の実設計は…

2月に荒川2丁目に建設予定の複合施設・地元説明会が行われ、イメージ図が示されました。

複合施設は中央館機能の図書館(57万冊)と子ども施設、小ホール、吉村昭記念文学館などを併設する大型施設の計画です。敷地面積4100㎡に5階建・延べ床面積1万㎡の建物で、新年度から実施設計を行い工事着工へと進む計画。新年度(2014年度)は25億円の予算を提案。2016年度までの3年間で60億円を超える支出の見込みです。今後資材や人件費の高騰も考えられるところで、最終的な総工費は今のまま納まるのでしょうか。またすでに用地取得で別途17億円程度かかっており、総額は80億円近くにのぼります。

荒川図書館(荒川4丁目・1962年開設)は築52年が経過し建替え時期に入っています。しかし現地で建て替える、突当りで道路付も悪いことから、新しい場所に図書館を新設する必要があります。

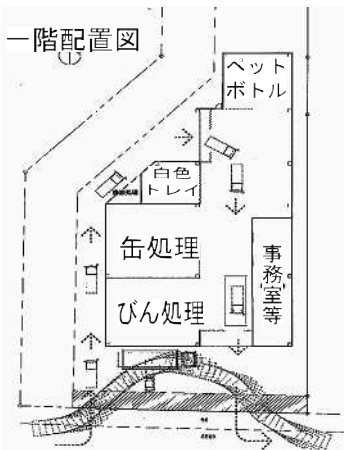
故吉村昭氏も文学館は、「区民の負担になる」と当初固辞、図書館内ならと了承した経過もありました。共産党区議団は図書館機能に絞って規模を見直すことを繰り返し提案しています。

掲載の図は、地元説明会で公表された外観のパース図です。

リサイクルセンター(ビン・缶・ペット中間処理) 総工費約6億円(環境影響評価縦覧中)

荒川区は、東京ガス社宅(南千住3丁目しらひげ橋手前)用地を一部借り、中間処理施設(ビン缶ペットなど処理)建設を計画。現状は、区内数カ所に分散、日量約10トン程度圧縮・破砕など実施しています。これを一カ所に集め日量で最大処理可能17トンを想定、延床面積1500㎡建設費3億6千万円を予定。当初は約半分の700㎡建設費も1億8千万円だったのに…。

リサイクルセンターは、区民の活動を支援などの事業ですが、今回の計画は中間処理施設です。大量消費・大量廃棄の区民生活の切り替えを荒川区が支援する事業が求められている。また、大規模施設建設は、環境への影響が大きいこともよく考えたいものです。



共産党の質問が実り 商店などリニューアルに補助

荒川区は、「小規模事業者経営力向上支援事業」(予算1億356万円)の実施を新規事業で打ち出しました。内容は、商店や工場(小規模事業者 製造業20人以下 サービス5人以下)の設備投資(機器更新も)と他事業との競争力アップなど目的にした事業です。

工事金額10万円以上で補助金額は、かかった費用の2.5%補助(申請にあたっては、中小企業診断士を派遣してアドバイス)します。

なお事務機器や車輛は対象外(風営法関連も対象外)となっています。

この新規事業については、昨年暮れの共産党代表質問で横山区議が、高崎市の「まちなか商店リニューアル助成」を荒川区でも実施すべきと求め、区も検討を約束していたものです。